

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 4月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	1270902396		
法人名	(株)トータルケアサポート		
事業所名	さくらの家 二子		
所在地	千葉県船橋市二子629-2 (電話)047-318-0777		
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	東京都文京区本駒込3-15-10		
訪問調査日	平成19年3月30日	評価確定日	4月20日

【情報提供票より】 (19年3月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	10人, 非常勤 9人, 常勤換算 15.3人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り		
	2階建て	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	75,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,500 円	

(4) 利用者の概要 (3月 25日現在)

利用者人数	12名	男性	5名	女性	7名
要介護1	4名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 78.5歳	最低	61歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市川東病院、すこやか医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理念及び前回評価での改善課題の一つを発展させて事業所の特徴としています。すなわち、理念の展開としては、「地域との交流を積極的に行う」があげられます。さらに前回評価関係では、利用者の「個別管理」についての管理内容があげられます。前者の「地域交流」では、季節行事のうち「クリスマス会」での地元保育園児の招待などユニークな催しを積極的に行っています。後者では、「個別管理」について月一回の2ユニット職員全員による会議によって利用者各人の健康状態等を克明に記録して役立てていることです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価では、利用者の健康状態の把握方法および玄関廻りの環境整備の改善が指摘されています。「利用者の健康状態の把握方法」については、月1回の2ユニット全体会議により、利用者各人別の状態が克明に討議、記録されており、改善されています。玄関周りの環境整備も花壇の設置を行い改善されています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価では、「地域との交流」を重点課題として、管理者を中心に関係職員が一体となり、自己評価の意義を理解した上で取り組んでおります。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>開業後3年経過しておりますが、「推進会議」はこれまで開催されておられません。本年度中には是非実施したいという管理者の決意があります。早急な計画と実施が期待されます。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月請求書を郵送する際、家族あての利用者の最近の健康状態等を記した手紙を送っております。玄関ホールの「意見箱」は効果がほとんどない、とのこと。家族が面会に来るたびに職員が対応しており、そこでの要望等の聴取が、現時点では最も役立っています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との交流は「理念」に結びつく重要課題です。年間の大きな催しの一つは事務所内の「クリスマス会」に地元保育園児、22名を招いて一緒に楽しんでいます。さらに、地元主催の夏祭り等季節毎の行事に利用者が招かれており、相互交流は盛んに行われています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「痴呆が進んでも心は生きている」を合言葉に共感的生活を大切にする。——を「経営理念」としております。この理念は1, 2階の各階段室に別途3項目の「ケア方針」と共に掲示されており、職員、利用者等が常に見ながらそこで過ごしております。	○	「経営理念」の中の「痴呆」という言葉は、「認知症」と置き換えることが必要と考えます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「理念」の実践のための事業所の重要テーマは「地域との交流を積極的に行う」こと、としております。すなわち、事業所内での「クリスマス会」に地元保育園児20数名を招く一方、地元主催の「夏祭り」等に利用者が招かれるなど、相互交流が盛んに行われています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しています。「理念」に沿う考えのもと、事業所内の「敬老会」に地元ボランティアの方が「詩吟」を朗詠したり、節分、ヒナ祭り等季節ごとに、地元の方々との利用者が相互交流を年々盛んにしております。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で改善が必要とされた「利用者の健康状態の個別管理」については、月1回の2ユニット職員全員による会議によって、利用者各人別に克明に討議され、記録に残され改善されています。「玄関廻り」については、色とりどりの花壇等で見栄えよく整備されており改善されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開業後満3年となりますが、「推進会議」はこれまで開催されておりません。	○	本年度中に是非実施したいという管理者の決意があります。早急な段取り・計画と実施を期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市レベルでは、「グループホーム連絡会」があります。この3年間で1回出席しております。	○	今後、「グループホーム連絡会」への積極参加と共に、市担当課等関係組織との密なる連絡、協議が望まれます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、利用料請求書を郵送する際、家族宛てに利用者の最近の健康状態等を手紙として送っております。「家族会」は結成されておりますが、開業後約半年が経過した頃、1回開かれただけです。	○	今回の「家族アンケート」では、職員の対応に「感謝」の意を表している方が大半ですが、「家族会」については、今後入念にやり方等を検討し、実施していくことが望まれます。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関ホールに「意見箱」が置かれており、苦情、要望等を受ける窓口のひとつとなっておりますが、これに応じる家族はほとんどいない模様です。家族が面会にくる度に担当職員が対応しておりますが、ここでの要望等が現時点では最も役立っております。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が他の施設に異動する際、担当家族には月1回の手紙のなかでその旨を記して報告しております。「家族アンケート」では、異動に関しての不満等はありません。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同企業系列の各事業所職員を対象にした「医療関連講習会」が頻繁に実施されています。平成19年度も「アロマセラピー」「転倒対応」「集団感染予防」等をテーマに、協力医療機関等の専門家を講師とする講習が、毎月予定されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	船橋地区の「グループホーム連絡会」は年1回開催されており、但し、当事業所からの出席は昨年11月の1回のみです。	○	同企業系列のグループホームとは、講習会等を実施して交流が盛んですが、今後は、系列外の企業との情報交換等の交流が課題といえます。
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の方には、面接を行っています。「体験入所」は、最長で二週間出来る体制です。その位の期間が必要と、管理者は考えています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一階と二階のユニット制です。一階の利用者は軽度の方が多く、職員と一緒に食事の材料を切ったり後片付けをしています。二階では利用者の意思を尊重し、個室で休みたい方は見守りをしています。なるべく利用者と話しをする時間を取るように、配慮しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今月の利用者の意向を把握し、前月の内容と比較検討して、ケアカンファレンスを行っています。援助目標を短期と長期に設定し、サービス計画に取り込んでいくのを、始めたばかりの状況です。	○	今後はケアカンファレンスの内容をケアプランの方に吸い上げ、個別ケアプランに反映していきたい、と管理者は前向きに考えています。実際に活かせる体制が望まれます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の意向を尊重し、家族の意見を取り入れ毎月カンファレンスを開き、職員間でアイデアを出し合い介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護度が急に進んだり、寝たきりになった場合には「家族面談」を行い、個別に見直しの対応をしています。例えば、気性の激しい利用者が他の利用者に迷惑をかけてしまった場合には、職員間で検討し、徐々に落ち着いたケースがあります。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その都度、家族と連絡を取り対応しています。まだ、多機能を活かした支援までは、至っていない状況です。	○	今後は利用者の要望があれば、デイサービスの利用などを取り入れていく事が期待されます。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に一回、往診の医院の訪問診療で医療が受診できる体制を整備しています。この医院とは、24時間体制での受け入れが可能な為、家族からの安心に繋がっています。必要があれば、往診の時に家族の方に来て貰い、医師から直接に話しをし、家族の納得が得られるような対応をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ、利用者本人や家族の意向の把握までは至っていない状況です。	○	今後は、本社との話し合いも含め、終末期に向けた方針を検討する事が望まれます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者に関する記録類は、鍵のかかるキャビネットに保管し、プライバシーの確保をしています。利用者と接する時に、他の利用者に内容によっては聞こえない様な配慮をしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の状態や、その日の天候に合わせて臨機応変に対応しています。例えば、天気の良い日には散歩に誘ったり、雨の日は室内でのゲームなどを、希望に沿って支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は、週4回届き新鮮な物を使うように心がけています。利用者と食材を買いに行く場合もあります。利用者に盛りつけを手伝って貰ったり、職員と一緒に後片付けをしています。食事時は、職員が利用者の中に入り、和やかな雰囲気の中で食事を楽しむ光景が見られました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前・午後と利用者の希望に合わせて、声かけをして入浴をすすめています。脱衣場・お風呂場共に暖かい温度に設定し、利用者が入浴をしたい気分になれる様に配慮しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の中には、裁縫の得意な方、料理の得意な方、絵を描くのが得意な方などそれぞれの生活歴や力を活かして、日中の活動に取り入れています。また、例えば、天気の良い日には散歩に誘ったり、雨の日は室内でのゲームなどを、利用者の希望に添って支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候により散歩をしたり、職員と一緒に買い物に出かけたりしています。近くに公園があり、訪問調査の日には、利用者にはお花見に誘っていました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関を出て直ぐは、トラック等の交通の多い道路の為に鍵をかけています。安全の為にやむをえない状況と思われれます。居室の鍵はかけない体制で、個室に用のある場合は、声かけを行っています。	○	玄関の鍵は、直ぐに利用者でも開けられる状態です。特に夜間の場合、玄関に利用者が近づくと鈴が鳴ったり、センサーの設定はありますが、職員が他の利用者のケアをしている最中は、直ぐに対応できません。今後検討の余地があります。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、消防署及び事業所スタッフによる防災訓練が実施されています。さらに、日常管理では、台所のガステーブルにロックをかけるとか喫煙者のタバコ、ライターを職員が預かるとか、きめ細かな防災管理を行っています。	○	年間の「防災計画」を検討、策定すると共に、消防署と事業所内スタッフだけでなく、地元の方々と一緒になった訓練が期待されます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスの取れた食事内容です。ご飯を柔らかめにしたり、材料を細かく刻むなどの工夫をしています。水分摂取は、食後の他には10時、15時と入浴後にも配慮をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1階から階段を上がって行く途中の壁面は、オレンジ系の紙で花をつくり飾り付けており、季節に合わせて模様替えをしております。さらに、1、2階の共用部分には、行事(節分等)ごとの利用者、家族等の写真を飾ったり、毎月テーマを変えて大型カレンダーを楽しい絵作りで掲示してあります。	○	玄関脇の階段の下の部分に、古新聞等が積み重なって置かれてあります。美観という面からも掛け物で隠すかなにか手を打つ必要があると思われます。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はベッド、マットレス、クローゼットは備え付けです。利用者は使い慣れた調度品、家具等を持ち込んで生活しております。簡素で清潔な感じの部屋が多く見られました。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。